

平成30年度入学者選抜について（予告）

平成29年1月 島根県立大学看護学部

平成30年度島根県立大学看護栄養学部（※1）看護学科における入学者選抜について、下記のとおり変更します。（※1）学部名称変更について文部科学省へ届出予定

なお、内容は現時点でのものであり、今後変更する場合がありますので、本学からの発表にご注意ください。

記

I. 募集人員について

社会人・学士入試の定員を「3名以内」に変更とし、一般入試の募集定員に含めることとします。

（平成29年度入試）

I 募集人員

看護学部看護学科

| 学部 学科 | 修業 年限 | 入学 定員 | 募 集 人 員 | | | | | | | |
|--------------|----------|----------|--------------|----------------|----------------------|----------------|-----------|------|------|--------------|
| | | | 一般入試 <注1> | | | 推薦入試一般 <注2> | | | | 社会人・ 学士入試 |
| | | | 帰国子女 入試 | 私費外国人 留学生入試 | 専門高校 ・総合学科 卒業生 | 地域 特別A | 地域 特別B | | | |
| 看護学部 看護学科 | 4年 | 80名 | 37名 | 1名以内 | 1名以内 | 40名 | 5名以内 | 2名以内 | 5名以内 | 3名 |

注1 「一般入試」の募集人員には、「帰国子女入試」及び「私費外国人留学生入試」の募集人員を含む。

注2 「推薦入試一般」の募集人員には、「推薦入試専門高校・総合学科卒業生」及び「推薦入試地域特別A・B」の募集人員を含む。

（平成30年度入試）

| 学部 学科 | 修業 年限 | 入学 定員 | 募 集 人 員 | | | | | | | |
|--------------------|----------|----------|--------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------|-----------|------|------|
| | | | 一般入試 <注1> | | | | 推薦入試（一般推薦） <注2> | | | |
| | | | 社会人・ 学士入試 | 帰国子女 入試 | 私費外国 人留学生 入試 | 専門高校 ・総合学科 推薦 | 地域 特別A | 地域 特別B | | |
| 看護栄養 学部看護 学科 | 4年 | 80名 | 40名 | 3名以内 | 1名以内 | 1名以内 | 40名 | 5名以内 | 2名以内 | 5名以内 |

注1 「一般入試」の募集人員には、「社会人・学士入試」「帰国子女入試」及び「私費外国人留学生入試」の募集人員を含む。

注2 「推薦入試（一般推薦）」の募集人員には、「推薦入試専門高校・総合学科推薦」及び「推薦入試地域特別A・B」の募集人員を含む。

Ⅱ. 一般入試について

大学入試センター試験における、理科の選択パターンごとの合否判定方法を変更します。
(理科①と②を受験した場合、高得点の科目を採用)

(平成 29 年度入試)

選抜方法

合格者の決定は、大学入試センター試験、面接及び調査書を総合して行います。

| 大学入試センター試験の受験を要する 教科・科目 | | 個別試験 | 備 考 |
|----------------------------|--|------|---|
| 教科 | 科目選択方法 | | |
| 国語 | 「近代以降の文章」必須 | 面 接 | 「数学」「地理歴史・公民」について、2科目以上受験した場合、「数学」は最高得点の1科目を合否判定に使用しますが、「地理歴史・公民」は、第1解答科目(注)を合否判定に使用します。 (第2解答科目は合否判定に使用しません。) |
| 数学 | 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」のいずれか1科目を選択。 | | |
| 理科 | 理科①【「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」(以下、基礎を付した科目という。)】から2科目を選択。但し、基礎を付した2科目(理科①)を選択せずに、理科②【「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の「基礎を付していない科目」】を選択した場合には、「基礎を付した科目」を選択したものとみなし、第1解答科目(注)を合否判定に使用する。 | | |
| 外国語 | 「英語」(リスニングテストを課す)必須 | | |
| 地理歴史・公民 | 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれか1科目を選択。 | | |

注)「理科②」「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。

◆理科の選択パターンごとの合否判定方法

- A 「理科①から2科目選択」した場合 → 理科①から2科目選択した科目で合否判定
- B 「理科②から1科目選択」した場合 → 理科②から1科目選択した科目で合否判定
- C 「理科①から2科目及び理科②から1科目選択」した場合 → 理科①から2科目選択した科目で合否判定
- D 「理科②から2科目選択」した場合 → 理科②から2科目選択した科目のうち、第1解答科目で合否判定

(平成 30 年度入試)

| 大学入試センター試験の受験を要する 教科・科目 | | 個別試験 | 備 考 |
|----------------------------|---|------|---|
| 教科 | 科目選択方法 | | |
| 国語 | 「近代以降の文章」必須 | 面 接 | 「数学」「理科②」「地理歴史・公民」について、2科目以上受験した場合、「数学」は最高得点の1科目を合否判定に使用しますが、「理科②」「地理歴史・公民」は、第1解答科目(注)を合否判定に使用します。 (第2解答科目は合否判定に使用しません。) |
| 数学 | 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」のいずれか1科目を選択。 | | |
| 理科 | 理科①【「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」】から2科目を選択。又は、理科②【「物理」、「化学」、「生物」、「地学」】から1科目を選択。 | | |
| 外国語 | 「英語」(リスニングテストを課す)必須 | | |
| 地理歴史・公民 | 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれか1科目を選択。 | | |

注)「理科②」「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答

科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。

◆理科の選択パターンごとの合否判定方法

- A「理科①から2科目選択」した場合 → 理科①から2科目選択した科目で合否判定
- B「理科②から1科目選択」した場合 → 理科②から1科目選択した科目で合否判定
- C「理科①から2科目及び理科②から1科目選択」した場合 → 高得点の科目で合否判定
- D「理科②から2科目選択」した場合 → 理科②から2科目選択した科目のうち、第1解答科目で合否判定

Ⅲ. 推薦入試について

①【一般推薦】1校あたりの推薦枠数を撤廃します。

(平成29年度入試)

推薦枠

推薦入試は島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を対象とします。「推薦入試一般」へ推薦できる人数は、1校3名以内とします。この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

(平成30年度入試)

推薦枠

推薦入試は島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を対象とします。「推薦入試(一般推薦)」へ推薦できる人数に制限はありません。

②【専門高校・総合学科推薦】1校あたりの推薦枠数を変更します。

(平成29年度入試)

推薦枠

「推薦入試専門高校・総合学科卒業生」へ推薦できる人数は、職業学科・総合学科を有する高等学校を対象とし、「推薦入試一般」への推薦人数とあわせ1校3名以内とします。なお、職業学科を有する高等学校であっても、そのうち「職業教育を主としない学科」の在籍生徒は対象外とします。

(平成30年度入試)

推薦枠

「推薦入試専門高校・総合学科推薦」へ推薦できる人数は、職業学科・総合学科を有する高等学校を対象とし、1校3名以内とします。なお、職業学科を有する高等学校であっても、そのうち「職業教育を主としない学科」の在籍生徒は対象外とします。

③【一般推薦、地域特別A・B】大学入試センター試験における、選択科目の採用方法を変更します。

(平成29年度入試)

選択科目の指定方法について

選択科目は、出願時に入学願書にて1教科(数学、理科、地理歴史・公民)を指定してください。なお、同一教科で2科目以上受験した場合、「数学」は最高得点の1科目を合否判定に使用し、「理科②」(理科①を選択しなかった場合)「地理歴史・公民」は、第1解答科目を合否判定に使用します。

(平成 30 年度入試)

選択科目について

各受験生の平成30年度大学入試センター試験の得点のうち、**最高得点の1科目を本学が選択します。**なお、「数学」「理科②」「地理歴史・公民」について、2科目以上受験した場合、「数学」は最高得点の1科目を合否判定に使用しますが、「理科②」「地理歴史・公民」は、第1解答科目を合否判定に使用します。(第2解答科目は合否判定に使用しません。)

④【一般推薦、地域特別A・B】大学入試センター試験における、理科の選択パターンごとの合否判定方法を変更します。

(平成 30 年度入試)

「II. 一般入試について」と同様です。

⑤【地域特別A・B】出願要件を変更します。

(平成 29 年度入試)

出願要件

出願できる者は、次の出願要件 I 及び II に該当し、かつ、平成29年度大学入試センター試験の教科・科目のうち、本学が定める教科・科目のすべてを受験し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

| 出願要件 I | 出願要件 II |
|---|--|
| <p>1) 地域特別A 島根県隠岐郡内にある県立学校(島根県立隠岐高等学校・島根県立隠岐島前高等学校・島根県立隠岐水産高等学校・島根県立隠岐養護学校)を平成29年3月に卒業見込みである者</p> <p>2) 地域特別B 「過疎地域自立促進特別措置法」に基づく島根県内の過疎地域のうち、本学が指定した地域にある県立学校(島根県立横田高等学校・島根県立飯南高等学校・島根県立島根中央高等学校・島根県立矢上高等学校・島根県立津和野高等学校・島根県立吉賀高等学校・島根県立石見養護学校)を平成29年3月に卒業見込みである者</p> | <p>次のすべてに該当する者であること</p> <p>1) 地域特別A ア 卒業後島根県隠岐郡内の地域に看護職として就業することを確約し、当該地域の町村長が責任をもって推薦できる者 イ 人物、学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について、在学学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>2) 地域特別B ア 卒業後出身の県立学校がある地域に看護職として就業することを確約し、当該地域の町村長が責任をもって推薦できる者 イ 人物、学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について、在学学校長が責任をもって推薦できる者 ウ 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> |

(平成 30 年度入試)

| 出願要件 I | 出願要件 II |
|--|--|
| <p>1) 地域特別A 島根県隠岐郡内にある高等学校(島根県立隠岐高等学校・島根県立隠岐島前高等学校・島根県立隠岐水産高等学校)を平成30年3月に卒業見込みである者</p> | <p>次のすべてに該当する者であること</p> <p>1) 地域特別A ア 卒業後島根県隠岐郡内の地域に看護職として就業することを確約し、当該地域の町村長が責任をもって推薦できる者 イ 人物、学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について</p> |

| | |
|---|--|
| <p>2) 地域特別B</p> <p>「過疎地域自立促進特別措置法」に基づく島根県内の過疎地域のうち、本学が指定した地域にある高等学校（島根県立横田高等学校・島根県立飯南高等学校・島根県立島根中央高等学校・島根県立矢上高等学校・島根県立津和野高等学校・島根県立吉賀高等学校）を平成30年3月に卒業見込みである者</p> | <p>て、在学学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>ウ 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>2) 地域特別B</p> <p>ア 卒業後出身の高等学校がある地域に看護職として就業することを確約し、当該地域の町長が責任をもって推薦できる者</p> <p>イ 人物、学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について、在学学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>ウ 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> |
|---|--|

IV. 配点について

配点を変更します。（配点比率は変更しません。）

（平成29年度入試）

一般入試

| 大学入試センター試験 | | | | | 個別試験 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-------|------|-----|
| 国語 | 数学 | 理科 | 外国語 | 地歴・公民 | 面接 | |
| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 600 |

推薦入試（一般推薦及び地域特別）

| 大学入試センター試験 | | 個別試験 | 書類審査 | | 合計 |
|------------|-----|------|------|---------------|-----|
| 国語 | 外国語 | 選択科目 | 面接 | 推薦書・調査書・志願理由書 | |
| 60 | | 30 | 10 | | 100 |

推薦入試（専門高校・総合学科推薦）

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|----|---------------|--|-----|
| | | 推薦書・調査書・志願理由書 | | |
| 40 | 40 | 20 | | 100 |

社会人・学士入試

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|----|-------|--|-----|
| | | 志願理由書 | | |
| 40 | 40 | 20 | | 100 |

帰国子女入試

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|----|-------------|--|-----|
| | | 成績証明書・志願理由書 | | |
| 40 | 40 | 20 | | 100 |

私費外国人留学生入試

| 小論文 | 日本留学試験 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|--------|-------------|--|-----|
| | | 成績証明書・志願理由書 | | |
| 40 | 40 | 20 | | 100 |

（平成30年度入試）

| 大学入試センター試験 | | | | | 個別試験 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-------|------|-----|
| 国語 | 数学 | 理科 | 外国語 | 地歴・公民 | 面接 | |
| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 600 |

| 大学入試センター試験 | | 個別試験 | 書類審査 | | 合計 |
|------------|-----|------|------|---------------|------|
| 国語 | 外国語 | 選択科目 | 面接 | 推薦書・調査書・志願理由書 | |
| 600 | | 300 | 100 | | 1000 |

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|-----|---------------|--|------|
| | | 推薦書・調査書・志願理由書 | | |
| 400 | 400 | 200 | | 1000 |

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|-----|-------|--|------|
| | | 志願理由書 | | |
| 400 | 400 | 200 | | 1000 |

| 小論文 | 面接 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|-----|-------------|--|------|
| | | 成績証明書・志願理由書 | | |
| 400 | 400 | 200 | | 1000 |

| 小論文 | 日本留学試験 | 書類審査 | | 合計 |
|-----|--------|-------------|--|------|
| | | 成績証明書・志願理由書 | | |
| 400 | 400 | 200 | | 1000 |

以上